

学食のデリバリーシステム



Unimeal

今日のごはん、先にキープ。

麗澤大学工学部

昼休み、学食を諦めたことはありませんか？

12:20~13:10の激しい混雑・・・

午後授業がある学生



留学生



車椅子の学生

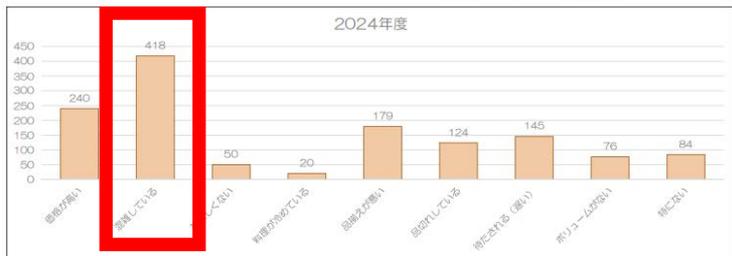


ただ混んでるだけじゃない！
不平等が起きてしまっている！

麗澤大学は、THE世界大学ランキング日本版の「国際性」分野で千葉県1位を6年連続で維持。外国人の教員・学生が多く在籍

「食べたいけど、並べない」 ～ アンケートから見た、学食に対する「諦め」の構造 ～

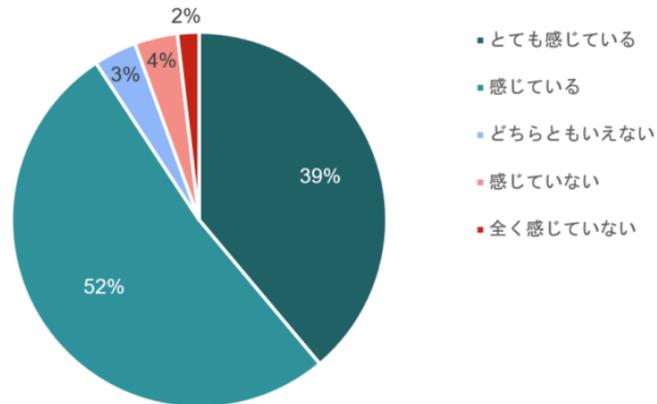
食堂の嫌なところ



- ・上位3項目「混雑している」、「価格が高い」、「品揃えが悪い」
- ・混雑している 23年度53%⇒24年度59.5%(+6.5%)
- ・価格が高い 23年度48.3%⇒24年度34.2%(-14.1%)
- ・品揃えが悪い 23年度41.2%⇒24年度25.5%(-15.7%)
- ・品切れしている 23年度19%⇒24年度17.7%(-1.3%)
- ※「混雑している」が増加。客数が増加している実態も示しているが
- ※「価格が高い」、「品揃えが悪い」、「品切れしている」の割合については減少

出典：2024年度 食堂利用者アンケート 結果報告

3学食堂で混雑を感じているか (n=54)



出典：筑波大学 昼休みの3学食堂混雑してるのなぜななぜ？
-食堂の分析者(アナリスト)

国内大学における学食に係る調査では、不満の第一位が「混雑」
短い昼休み(40~60分)に数百人が集中する構造的な限界は、全国の大学共通の課題

学食にある「3つの見えない壁」を壊す！

私たちが壊したい「3つの壁」

① 物理・時間の壁

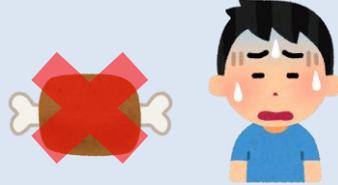


混んでて学食が買えない！
不便だから学食に行けない・・・



サテライト発送で
「場所」を超える

② 情報・文化の壁



アレルギー・言語・宗教上食べ
れないものがある
学食が食べれない・・・



文化・体質に合わせ自動フィルター
食のタブーに恐れず注文できる！

③ 心理的な壁



注文に焦るプレッシャー、
自分は学食には向いていないという
疎外感・・・



自分のペースで注文できる安心感！

実現したい未来



友人と快適なランチタイムを当たり前！
キャンパスライフに彩りを！

誰もが平等に「食」を楽しめるアプリ “Unimeal”



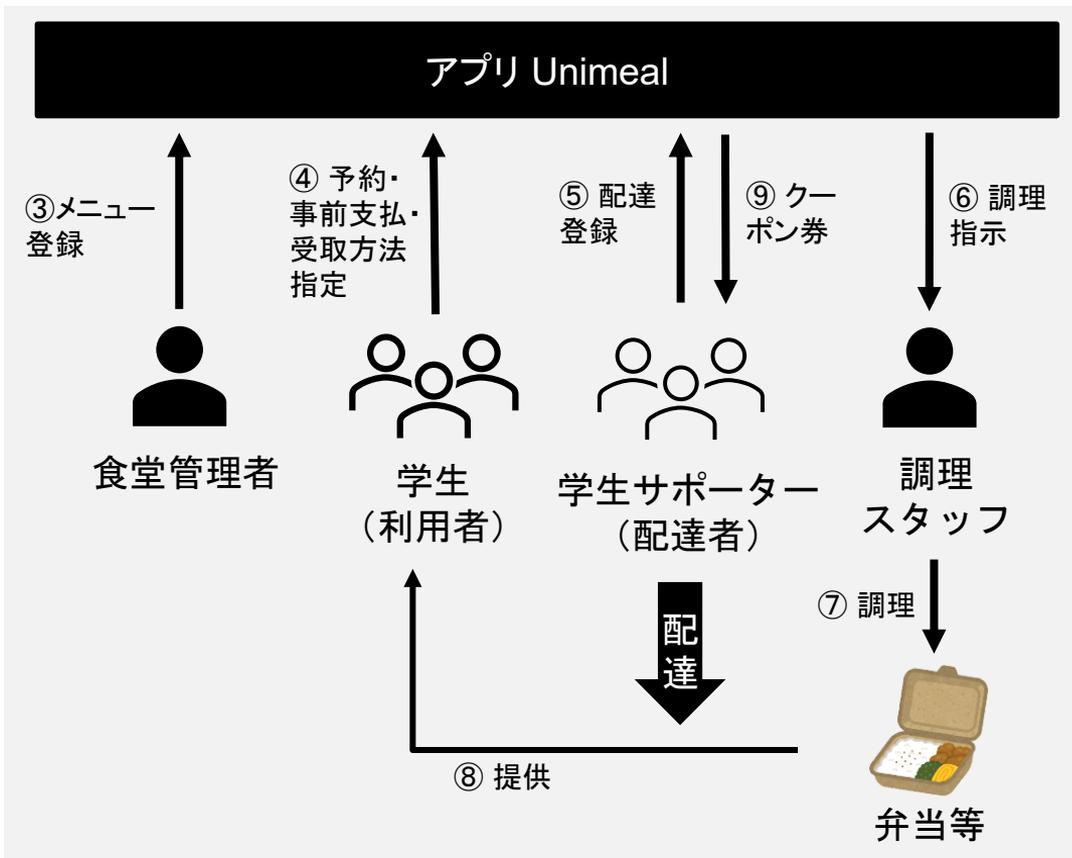
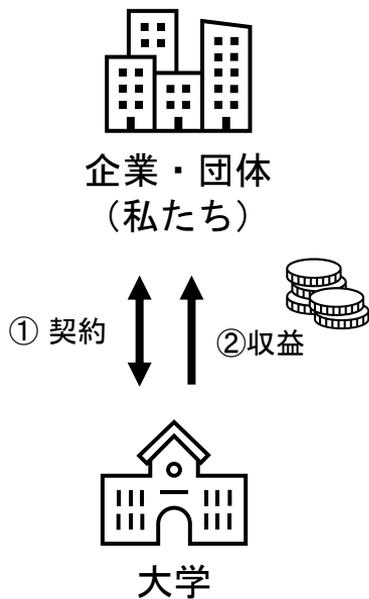
スマホ一つで決済が終わる！
事前に予約・注文・取置ができる！

「待たない」

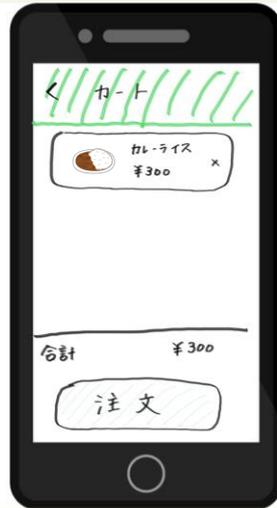
「迷わない」

「移動しない」

ビジネスの全体像



アプリの利用イメージ



アプリの特徴

スマートオーダー



スマホでメニュー閲覧、予約、決済まで完結！英語、中国、韓国語に加え「やさしい日本語」機能搭載！留学生も迷わず注文できる。

厨房連携・需要予測システム



- ・厨房にタブレットを設置し、予約状況をリアルタイムで表示
- ・事前注文データがあるため、「見込み調理」から「受注調理」が可能。売れ残りによるフードロスを削減できる。

学生サポーターによる配送



食堂に行かなくても指定された校舎のロビー（サテライトスポット）で受け取れる選択肢を追加。学生サポーターが保冷・保温ボックスでまとめて配送。食堂の混雑を分散させることができる。

食のバリアフリー・フィルター



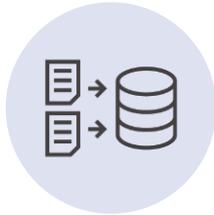
アレルギー、宗教上の制限、カロリーを登録しておくで自分専用のメニュー表示に切り替わる。食べられないものは表示しなかったり、警告が出る仕組みにする。

SDGsへの貢献

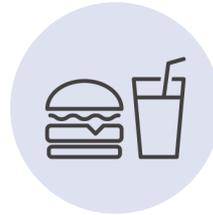
12 つくる責任
つかう責任



10 人や国の不平等
をなくそう



これまでの「見込み調理」
から、予約データに基づく
「受注生産」へ。



「作りすぎ(廃棄・フードロ
ス)」をシステムで防ぎ、地球
環境に貢献する。



Unimeal

ご清聴ありがとうございました